は、生命科学研究の源泉の 馳せてきた。ペプチド化学

つであり、有機化学と生

ドを基盤とする創薬へ夢を

て、今も魅力的なペプチ

## ペプチド化学を基盤とする難治性疾患 克服を目指した創薬化学研究

が脆弱なアカデミアの研究

や製薬企業が挑み難い疾患 高い構造からなる高活性 の到達点をDrug-likenessの と考えたわけである。 要請や企業のニーズが追い 準備をしておけば、社会の を創薬の対象にした。アカ ディカルニーズの高い難病 た。そして、アンメットメ とは何だろうか。私は、そ デミアが先回りして創薬の 者が取り組むべき創薬研究 つく時が来るのではないか 一方、ペプチド化学者と ド化合物の創製と定め

> GAの読み飛ばしに優れた ら、特に中途終止コドンU

る薬学の研究者に 資するネットワーク 役に立つ新薬の創造 とっても、世の中の は大きな夢である。 はなく、創薬支援に しかし、製薬企業で アカデミアに属す

挑んだ。デュシェンヌ型筋 る(+) - ネガマイシンか ペプチド様の抗生物質であ ジストロフィーを対象にジ 中途終止コドンを読み飛ば 異疾患に対する創薬では、 きた(表)。ナンセンス変 薬研究に取り組むことがで までに、複数のペプチド創 るリードスルー薬の創製に 前述の考えに則り、これ 完全長蛋白質を誘導す

由来のステープルペプチド Fc部認識環状ペプチド リックスの新規テンプレー の位置選択的調製に資する を目的に、抗体薬物複合体 トになる可能性のある天然 創薬ツールとしての利用

の全てD体アミノ酸からな プチドを創製することがで る生体安定性の高い阻害ペ 実施し、最終的には16残基 分子阻害ペプチドの創製を マイオスタチンに対する中 骨格筋成長の負の調節因子 CoV-1が有するシステイン SARS新興を機にSARS ある (図)。2002年の ティック型阻害剤研究を開 oに対するペプチドミメ 始し、3CLproの触媒 プロテアーゼ3CLpr

用機序を持って 自阻害構造(ア リールケトン)を 機構に基づいて独 築、明確な作

構

YH-53

ジペプチド型阻害剤

Eur. J. Med. Chem., 2013.

ロテアーゼ (3CLpr と考えているが、特筆すべ の)に対する阻害剤創製で ス (SARS-CoV) のCLJ きはSARSコロナウイル いずれも重要な創薬研究

の学術基盤を提供している。

あった。 ファイザーはYH

も優れたリード化合物で した20年時点で、世界で最 ID - 19がアウトブレイク

が短所であったが、COV -53 を

該ウイルスの感染を強く CoV-2 3CLproも強力に阻 抑制した。短い体内半減期 害し、invitroで当 YH-53は、今般のSARS 術的基盤をいち早く提供 ルビルを創製した。社会が 望する中で、わが国のアカ COVID - 19治療薬を待 兄服に 貢献できた。 アミアから治療薬開発の学 今般の世界規模の危機

か先回りして創薬の準備を しておいた一例になるかも この研究は、アカデミア

## 東京薬科大学生命科学部教授・ 林 良雄

複数の誘導体を創製できた。

の発見にも成功した。

する阻害剤YH - 53を13年 SARS-CoV-1 3CLproを阻害

もとにCOVID-19の治

療に適用された最初の30

1pro阻害剤ニルマト

Your Partner in Medication Va ma

に創製した。

方、筋萎縮性疾患の克

服を目指した創薬として、

薬学部特命教授

## 対象とした主なペプチド創薬研究 表

ミメティクスや蛋白質 - 蛋

対たな潮流としてペプチド

医薬品開発を牽引してい

ヘプチドを開拓し、絶えず

制御する中分子および環状 | |質相互作用(PPI)を

合体(ADC)などのバイ

ス医薬品における化学修飾

## 目指したアカデミアがすべき実践的な創薬研究

目標:製薬企業とは異なる目線でDrug-likenessの高い構造からなる高活性リード化合 物の創製

利点:アカデミアが先回りして創薬の準備をしておけば、製薬企業のニーズが追いつく 時が来る

標的疾患:アンメットメディカルニーズの高い難病/製薬企業が挑み難い疾患

の学問は、固相合成化学や

ルモン研究から始まったこ 命科学の十字路にある。 ホ

コンビナトリアル化学を創

出し、ケミカルバイオロ

ジーの発展を支え、創薬の

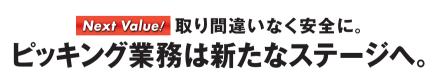
サイズ	ペプチド創薬テーマ	ペプチドの起源	標的疾患など
低分子	● チューブリン重合阻害剤	天然物:フェニラヒスチン	がん、好中球減少症
	❷ リードスルー薬	天然物: (+)-ネガマイシン	筋ジストロフィー、 ナンセンス変異疾患
	❸ SARS-CoV 3CLプロテアーゼ阻害剤	基質切断部位配列	SARS, COVID-19
中分子	個 ヒトニューロメジンU受容体アゴニスト	ヒトニューロメジンU	肥満、高プロラクチ ン血症
	⑤ マイオスタチン阻害ペプチド	タンパク質前駆体配列	サルコペニア、がん 悪液質など
環状分子	⑥ 抗体Fc部分認識ペプチド	ファージライブラリー	選択的ADC調製法
	● タイトジャンクション開口ペプチド	天然環状デプシベプチド MAO26	経皮吸収促進補助

P4 P3 P2 P1 -P1' P2' P3' P4' Ala Val LeuGin -Ser Gly Phe Arg > 切断部位 基質切断部位のアミノ酸配列 初期のデザイン構造 酵素阻害機構 SH-5 トリペプチド型阻害剤 - 社でのSARS-CoV-2 3CLPro阻害剤の開発 SARS-CoV-2 3CLProft

(X-ray Data) ニルマトレルビル Owen et al., SCIENCE, 2021, 374, 6575 (2022年日本承認) J. Med. Chem., 2022 YH-53をリード化合物として利用 SARS-CoV 3CLプロテアーゼ阻害剤の創製

(TM2/3CLP<sup>ro</sup>

結合したYH-53

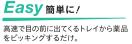


薬品トレイの組み合わせ次第で

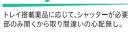


自動薬剤ピッキング装置 **DrugStation**  約1.200種(約3,000箱)\*の薬品搭載可能! ・ 本体幅3.6m、ビッキング台1台構成時の場合。本体幅は最小2.7mから最大7.2m、 ビッキング台は2台まで増設可能となります。詳細はお問合せください。











搭載薬品種はPTPシート/軟膏/点眼/ 漢方等、ピッキング可能な薬品が対象。





薬品箱に対応した 自動入出庫装置

自動薬品箱入出庫装置 DS Box Unit

発売元 本式会社 工

大阪本社 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目4番30号 TEL (06)6868-5155(代) 東京本社 〒130-0012 東京都墨田区太平2丁目10番10号 TEL.(03)3829-9511(代)